生活単元学習指導案(略案)

平成26年11月14日金曜日2校時中学部2年 男子3人 女子3人 計6人場 所 中学部2年教室指導者○○○○(CT)○○○○(ST)

1 単元 「作って食べよう~お弁当を作って出掛けよう~」

2 本時の実際(12/23)

(1) 全体目標

冷凍食品に記載されている調理時間を読み取り、電子レンジで調理をすることができる。

(2) 評価規準

\ <u>-/ </u>		
育てたい力	評価規準	観点
自分づくり	① 冷凍食品に記載されている調理時間を設定する。	【知識・理解】【技能】 【思考・判断・表現】
関係づくり	② 電子レンジの一連の操作をする。 ③ 友達の様子をモデルにしたり、自分から教えたり尋ねたり、友達の意見を受け入れたりする。	【知識・理解】 【関心・意欲・態度】

(3) 個人目標

11 44	
生徒	個 人 目 標
K. Y	記載されているイラストや文字を手掛かりにすることで、調理時間を設定し、
(2年,男)	冷凍食品を温めることができる。
T.R	記載されている電子レンジのイラストや文字を友達と一緒に確認することで,
(2年,男)	正しい調理時間を設定し、冷凍食品を温めることができる。
T. Y (2年, 男)	記載されている電子レンジのイラストと対応した写真カードを見たり,友達
	や教師のモデルを手掛かりにしたりすることで、調理時間を設定し、冷凍食品
	を温めることができる。
N. Y	冷凍食品の調理方法の表示を手掛かりにすることで、読み取った調理時間や
(2年,女)	ワット数を設定し、食品を温めることができる。
M NI	冷凍食品の調理方法の表示と対応した写真カードを見たり,友達や教師のモ
M. N (2年, 女)	デルを手掛かりにしたりすることで、調理時間を設定し、食品を温めることが
	できる。
Y. N	手順表や電子レンジに貼り付けた目印を手掛かりにすることで,自分で「温め
(2年,女)	ボタン」を押したり、調理終了の合図で食品を取り出したりすることができる。

(4) 指導及び支援に当たって

学習活動の概要と授業環境の工夫

前時までに生徒たちは、御飯を炊いたり、簡単な調理をしたりして、弁当づくりに意欲的に取り組んできた。しかし、電子レンジの操作において、誤った時間で調理して失敗したり、操作の仕方が分からずに自信をもって一人で使えなかったり、加熱した物を素手でつかんだりするなど、正しく安全な使い方を十分に理解しているとは言えない。

そこで、本時では、冷凍食品の表示から調理時間を読み取ったり【自分づくり】、操作の仕方を覚えたり【関係づくり】、安全面で気を付けることを確認したりしながら、電子レンジで調理をすることができるようにする。また、少人数のグループ内で、友達の様子を見て道具の扱い方を知ったり、友達に作り方を教えたり、困っている友達に言葉を掛けたりすることができるようにする【関係づくり】。

教材・教具とのかかわりについて

電子レンジの正しい使い方を調べる際には、写真を提示するなどして、使い方や気を付けることを知ることができるようにする。操作を一人で行ったり、表示を読み取ったりすることができるよう、個別に教材・教具を用意し、家庭での実践にもつなげる。

人(友達や教師)とのかかわりについて

友達をモデルにしたり、分からないことを自分から友達に聞いたり、困っている友達に教えたりすることができるように、グループ編成や電子レンジを使う順番を配慮する。

自分とのかかわりについて

教師や友達が電子レンジを使っている様子や言葉掛けを手掛かりにして、教師や友達の意見を受け入れたり、自分で挑戦したりすることができるようにする。毎時間使用しているワークシートを使って、調理する物や使う道具、気を付けることなどを実態に応じて簡単にまとめ、次時以降で活用することができるようにする。

(5) 実際

(5) 実際 過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料·準備
儿型 作主	工な子目沿到	・ 衛生面に十分配慮し、授業が始まる前	<u> </u>
導入 (5分)	 始めの挨拶をする。 前時の学習を振り返り,本時の学習を話し合う。 電子レンジでおかずを作ろう。 	に、身支度と手洗いの指導を済ませておく。 ・正しい姿勢で挨拶ができるように言葉掛けをする。 ・ 弁当型の学習計画表を提示することで、生徒が自分から前時までの学習を長り返り、本時の学習に見通しをもつことができるようにする。	マスク三角巾消毒液学習計画表
展(40分)	では、	中をのう 一に ラ対とを ンジ 配すで き,認 理分。たたをりす 具品定う しっかとよ 人う イとこか レー の定が でした にいすで しき ン,りあになに やでる 一ま でしたいすで しき ン,りあになに やでる 一ま でしたいすで しき ン,りあになに やでる 一ま でしたが定と 用が 子りたにう全的 いプり 作順を3 に使るらが習教言 べでをが ごにかす性3別自。にをた調けて扱る たが表し、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、」」」」 をら設こ 名案用がなで、「一、「一、「一、」」」 をいます だいまない かんとよ 使いより がで教るいにいまなした合掛 温冷しきをおむに、にがやMのけの間にりで 理でをが でした。 このできない。 一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
終末 (5分)	7 本時の学習を振り返る。8 次時の学習を知る。9 終わりの挨拶をする。	ワークシートにまとめることで、次時以降活用する。学習計画表を使って、次時の学習への意欲を高めることができるようにする。	ワークシート学習計画表

(6) 評価

冷凍食品に記載されている調理時間を読み取り、電子レンジで調理をすることができたか。